

(様式例)

平成30年度 自己評価・学校関係者評価 報告書(研修部)

岐阜県立岐阜本巣特別支援学校

学校番号 105

自己評価

学校教育目標	・夢の実現に向け自ら学び考え、生き生きと表現できる児童生徒を育てる。 ・心のふれ合いを大切に、自他共に尊重できる児童生徒を育てる。
--------	--

評価する領域・分野	「研究推進」	「研修・教育開発」
現状及びアンケートの結果分析等	授業づくり、教員の専門性にかかわる項目5つの全てにおいて、75%以上が『あてはまる』に該当しており、前年度よりその割合も増加している。特に、「2:一人一人のよさや可能性をのばせるような工夫をしている」「22:授業には体験的な活動が取り入れられ、児童生徒の実態に即している」は、88%、89%であり、良好であると考えられる。「18:教員は、専門的知識が豊かで教師としての資質を身につけている」は78%、専門性の向上をうたって取り組んできた研究のまとめの年度としては、80%を超えたいところであった。来年度は、職員の一人一人が特別支援学校教員として、更なる専門性の向上を図ることを目指したい。また、授業のプロとして、児童生徒が学校生活の中心である学習活動を楽しみに登校することができるような授業づくり、根拠のある指導計画を立て、学習のねらいと成果等を保護者に分かりやすく説明することができるようにし、理解と協力を得ることが必要であるとする。	
今年度の具体的かつ明確な重点目標	① 研究推進 ・児童生徒の「社会性」「主体性」を育む授業づくり ・職員の専門性(授業力)向上 ② 研修 ・研修、情報提供の実施による専門性の向上	
重点目標を達成するための校内組織体制	・研修チームを中心とする各研究チームと全校での組織的な研究推進 ・学習支援部、支援センター部との連携強化による研修会の実施	
目標の達成に必要な具体的取組	① 研究推進 ・年間2度の全校授業研究会とそれに伴う事前事後検討会、全ての研究グループにおける研究授業実施 ② 研修 ・講演会やその他各種研修の実施及び日常的なOJT、研究通信の発行 ・研修、書籍、先行研究等の紹介や文献・資料の共有化等の推進	
達成度の判断・判定基準あるいは指標	① 研究授業の実施、及び事前事後検討会を通して授業改善が行われたか。 ② 職員の専門性の向上を目指した研修の実施ができたか。	
取組状況・実践内容等	① 2度の全校授業研究会と事前事後検討会を実施 全グループ研究授業実施、一人一授業参観 ② 全校研究会における専門家の招聘と専門性向上のための自主研修会実施	
評価の視点		評価
① 研究授業の実施、及び事前事後検討会を通して授業改善が行われたか。		A ② C D
② 職員の専門性の向上を目指し、事後の授業に活かす研修の実施ができたか。		A ② C D

成果・課題	総合評価
<p>○授業研究会と事前事後検討会の実施により、研究チームにおける重点への取組が活発に実施された。また、前年度までの成果をもとに、系統性のある指導計画の見直しや児童生徒に願う「社会性」「主体性」について整理することができた。</p> <p>○児童生徒の自然な思考の流れに即した単元での学習、年間を通して系統立てた単元を計画、実施したことにより、「分かって動ける」「やりたい気持ちをもって取り組める」「誰かのためにがんばる」児童生徒の姿が多く見られた。</p> <p>○「明日の授業に活きる」専門性向上のための各種研修を実施することができた。</p> <p>○ファシリテーションの推進により研修会、研究会では活発な意見交流と生産的なまとめをすることができた。</p> <p>▲9（12）年間を通して系統性をもった指導計画の作成</p> <p>▲専門性向上につながる研修をより参加しやすく実施</p>	<p>A ② C D</p>
<p>来年度に向けての改善方策案</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・9（12）年間を通して系統性を慮った指導計画の作成 ・根拠が明確な指導計画の作成と保護者への説明（懇談や通信を活用） ・教師の専門性の向上を目指した研修の実施と外部研修会への派遣計画

学校関係者評価（平成31年2月7日実施）

<p>意見・要望・評価等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公開授業研究会では素晴らしい授業を参観させていただいた。この4年間の研究の成果を踏まえて先生方がより専門性を高められ、日々の教育実践に生かされることを期待している。
--